

2019年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

（専修学校留学生）

日本語

注意 ☆試験時間は120分。

☆答えは全て**解答用紙**に記入すること。

日本語（問題A）

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

I したのえのことばを のなかからえらんで、かいとうようし きごう 解答用紙に記号でかきなさい。

A めがね	B くるま	C ぼうし	D とり
E ノート	F ドア	G つくえ	H かさ

(れい)

(1)



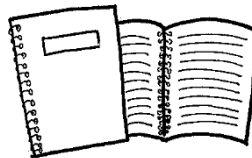
(2)



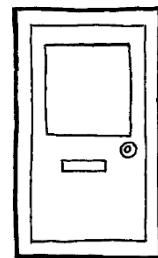
(3)



(4)



(5)



II つぎのぶんの _____ には、どんなことばがはいりますか。

A~Dのなかからひとつえらんで、かいとうようし きごう 解答用紙に記号でかきなさい。

(れい) わたしは コーヒー _____ のみます。

A と B を C の D で

(1) わたしは あさ、こうえん_____さんぽします。

A に B で C を D へ

(2) あした しけんがある_____、きょうは べんきょうを します。

A のに B のが C ので D では

(3) しけんの とき、じしょを み_____いけません。

A たと B ては C て D るは

(4) まいにち 何時間_____ねますか。

A ぐらい B ごろ C まで D だけ

(5) ふゆに なる_____ゆきが ふります。

A は B が C に D と

(6) ボールペン_____えんぴつを かして ください。

A も B か C で D の

(7) つくえの うえ_____はこが あります。

A で B と C へ D に

(8) わたしは ともだち_____ひるごはんを たべました。

A と B が C に D で

(9) この 時計は 父_____くれた ものです。

A に B を C は D が

(10) わたしは ともだち_____1時間も またせて しまいました。

A に B が C を D と

Ⅲ _____ のかんじのよみかたを A～D のなかからひとつえらんで、^{かいとうよう}解答用紙に記号でかきなさい。

問1 来月 五日に 学校の 試験が あります。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| (1) 来月 | A らいがつ | B くるづき |
| | C らいげつ | D くるつき |
| (2) 五日 | A いつか | B ごか |
| | C ごじつ | D いつつび |
| (3) 学校 | A がこう | B がっこ |
| | C がくこう | D がっこう |
| (4) 試験 | A しきん | B しけん |
| | C しきけん | D てすと |

問2 旅行の とき、天気が いいと いいですね。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| (5) 旅行 | A りょうこ | B りよこ |
| | C りよこう | D りょうこう |
| (6) 天気 | A てんき | B てんち |
| | C てんきん | D てんぎ |

問3 きのは 姉と 映画を 見てから 洋服を 買いました。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| (7) 姉 | A あね | B あに |
| | C いもと | D いもうと |
| (8) 映画 | A あいが | B えいが |
| | C かいが | D ええが |
| (9) 洋服 | A わふく | B やんふう |
| | C ようふう | D ようふく |
| (10) 買 | A ば | B ま |
| | C か | D あ |

IV () のなかにはいるもつともてきとうなことばをしたの のな
かからえらんで、その記号を解答用紙にかきなさい。

問1

- (1) ゆうびんきょくは () ですか。
- (2) この ざっしは いっさつ () ですか。
- (3) あの 男の 人は () 音楽を 聞いて います。
- (4) わたしは () と いっしょに えいがを みに 行きたいです。
- (5) わたしは () きれいな さくらの 花を みたいです。

A なに	B なにか	C いつ	D いつか
E どこ	F どこか	G だれ	H だれか
I いくら	J いくつ		

問2

- (1) 夏休みの しゅくだいが () できました。
- (2) ともだちが () きれいな ハンカチを くれました。
- (3) わたしは チョコレートは () すきでは ありません。
- (4) さとうさんは () 学校の しょくどうで ひるごはんを
たべます。
- (5) うちで ミルクを のんで () やすみました。

A すると	B だんだん	C あまり	D たいてい
E ゆっくり	F やっと	G まだ	H とても

V () のなかにはいるもっともてきとうなことばをしたの のな
かからえらんで、その記号を解答用紙にかきなさい。

- (1) この すうがくの もんだいは () ので できません。
- (2) 日本の こうつうは () だ そうですね。
- (3) おとうさんは にちようびには () ばかり 見て います。
- (4) () おいしい くだものは はじめて たべました。
- (5) 先生の はなしを よく () ください。

A あんな	B どんな	C やさしい	D むずかしい
E じょうず	F べんり	G テレビ	H ラジオ
I きて	J きいて		

日本語（問題B）

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

I 次の漢字の正しい読み方または書き方でもっともてきとうなものをA～Dの中から一つえらんでその記号を解答用紙に書きなさい。

1. こうつうの発達とともに生活がべんりになりました。

- (1) こうつう A 高級 B 交通 C 交流 D 航空
 (2) 発達 A はってん B はつてん C はったつ D はつたつ
 (3) べんり A 便利 B 利便 C 方便 D 便方

2. 伝統的な日本の年中行事をしょうかいしましょう。

- (4) 伝統 A でんとう B でんどう C てんとう D てんどう
 (5) 行事 A こうじ B ゆくこと C しんじ D ぎょうじ
 (6) しょうかい A 招待 B 照会 C 紹介 D 紹介

3. ゆういぎな留学生活をおくりたい。

- (7) ゆういぎ A 友誼 B 優位宜 C 有意義 D 有意思
 (8) 留学 A りょうがく B りゅうがく
 C しょうがく D しゅうがく
 (9) おくりたい A 入りたい B 過りたい C 贈りたい D 送りたい

4. 大型たいふうの直撃に備える。

- (10) たいふう A 大風 B 台風 C 耐風 D 暴風
 (11) 直撃 A ちよくげき B じじ
 C じきしゅ D じゅくげい
 (12) 備える A たくわえる B ころろえる
 C そろえる D そなえる

II ()の中に入るもっともてきとうなものをA～Dの中から一つえらんで
その記号を解答用紙きごう かいとうようしに書きなさい。

(1) 考えれば () ほどわからなくなってきました。

A 考えて B 考えた C 考え D 考える

(2) 雨の日は事故が () やすい。

A 起こる B 起こす C 起こり D 起こし

(3) 日曜日にみんなでハイキングに () ことになりました。

A 行く B 行って C 行った D 行こう

(4) 電源を () とたん、火が出て機械がこわれてしまった。

A 入れる B 入れて C 入れた D 入れ

(5) めがねを () まま、寝てしまいました。

A かける B かけた C かけて D かけない

Ⅲ () の中に入るもっともてきとうなことばを下の の中からえらんでその記号を解答用紙に書きなさい。ことばは一度しか使えません。

問1

- (1) 暗くなってきましたね。() 帰りましょうか。
- (2) 始まるまで() お待ちください。
- (3) かぜ気味でしたが、よく寝たので() なおりました。
- (4) 長い間かっていた犬が() 死んでしまいました。
- (5) 明日は大切な試験ですから() ちこくしてはいけません。
- (6) スーパーで買ったものは全部で() 2千円でした。

A	けっして	B	ちょうど	C	しばらく	D	とうとう
E	すっかり	F	そろそろ	G	ひじょうに	H	わざわざ

問2

- (1) 目覚まし時計が鳴りませんでした。() 朝ねぼうしました。
- (2) では、() 発表会を始めます。
- (3) ランチにはライス() パンがついています。
- (4) 毎日まじめに勉強しています。() 成績が上がりません。
- (5) 試験を受けられませんでした。() 会場をまちがえたからです。
- (6) 雨がひどくなってきました。() 風も強くなってきました。

A	これから	B	それなら	C	それでは	D	それで
E	でも	F	または	G	なぜなら	H	また

IV ()の中に入るもっともてきとうなものをA～Dの中から一つえらんでその記号を解答用紙きごう かいとうようしに書きなさい。

(1) 今から出発した() 予定の飛行機には間に合わない。

A ところで B ことから C ばかりに D のに

(2) 行ける() 行きたいが、その日は忙しくて休みがとれない。

A もので B ものなら C ものを D ものか

(3) 彼女がうそなどつく()。

A ものだ B ものでない C はずだ D はずがない

(4) うわさをしている() 本人がやってきた。

A ところが B ところへ C どころか D どころに

(5) 留学するかどうか決め() いる。

A ぬいて B きって C かねて D かけで

(6) 勝つ自信があった() 負けた時はショックだった。

A にしては B だけあって C ばかりか D だけに

(7) この写真は私に() とても大切なものです。

A にとって B 対して C ついて D よって

(8) 近くに新しい駅ができた() 通学時間が短くなった。

A はじめて B ものの C おかげで D せいで

(9) 年をとるに() 体が弱くなる。

A ついて B おいて C よって D つれて

- (10) じょうずになりたければ、何度も練習する（ ）。
- A ことです B つもりです C ぐらいです D かぎりです
- (11) 雨の中、サッカーをして、どろ（ ）になった
- A だけ B ばかり C ずくめ D だらけ
- (12) 山道を何時間も歩いて死ぬ（ ）疲れました。
- A まで B だけ C ほど D ぐらい
- (13) 彼女はまじめに勉強しているから、志望校に合格する（ ）。
- A に違いない B に違いはない
C と相違ない D と相違はない
- (14) 山田：「どうぞごらんになってください。」
鈴木：「ありがとうございます。（ ）。」
- A ごらんになります。 B 拝見します。
C いただきます。 D まいります。
- (15) ぜひ私にこのプロジェクトを（ ）ください。
- A やって B やられて C やらせて D やらされて

V 次の文を読んで、(1)～(4)の中に入ることばを□の中からえらんで、かいとうようし解答用紙きごうに記号で書きなさい。

わたしは子供のころから、「読む」ことが好きでした。もちろん本を読むのが好きなのですが、実は、印刷されているものであれば、何でもいいのです。たとえば、駅のポスター、スーパーのチラシ、チョコレートの包み紙、ポテトチップスの袋、ジュースの缶……。字が書いてあれば、何でも全部読んでしまいます。わたしは「字」が好きなのです。

ある日、アニメを見ていて、ふしぎな字を見ました。小さな町にあるパン屋のかんばんです。「パン屋」と書いてあるはずなのですが、わたしが知っているどの文字とも違うのです。それは日本のアニメでした。その時、こう思いました。「なるほど、これは日本語の字なのだ、日本語を勉強すれば、あの不思議な文字が読めるようになるのだ、あれが読めるようになったらどんなに楽しいだろう。」これがわたしが日本語を勉強するようになった(1)です。

日本語の文法は、動詞や形容詞の変化もロシア語のように複雑ではないし、「わたし」でも「わたしたち」でも動詞や形容詞の形は同じです。ことばの順番も動詞が最後の方にあって、あとの順番はそんなにきびしくありません。「わたし」を言わなくても、文になります。また、発音もあまり難しいものはありません。わたしは「かきくけこ」は苦手ですが、そのほかは大丈夫だと思います。

(2)、字は違いました。ひらがなを50近くも覚えたと思ったら、次はまた同じ数だけカタカナがあります。それが終わったら次は漢字です。はじめは一や二や山や川を見て「絵と同じですね。」と楽しかったのですが、勉強するにつれて形からわかるものは、ほとんどなくなっていきます。こんなにたくさん、日本の子供は本当に覚えることができるのでしょうか。わたしはびっくりしてしまいました。

日本語の勉強は進んでも、覚えた漢字の数はなかなか増えません。わたしはもう、「漢字を覚えなくても、話せばいいんじゃないかしら」と思うようになりました。本当は字が好きだったはずなのに。

でも、そんなことを考え始めたころ、漢字はパーツの組み合わせだと気が付きました。木に関係する「きへん」や、水を表わす「さんずい」など、これを

知っていれば、初めて見た漢字でも、何となく意味がわかるというすばらしい
(3) です。これがわかってから、漢字がなぜ今でも使われているかわかる
ようになりました。

今、わたしは、アニメの中のかんばんはもちろん、日本のお菓子の袋も読め
るし、まんがも日本語で読めるようになりました。

でも、わたしの一番好きなことばは「消しゴム」です。なぜなら、一つのこ
とばの中にひらがなも漢字もカタカナも入っているからです。

(4) わたしは、字が好きなのです。

A	それで	B	むり	C	きっかけ	D	やっぱり
E	ところが	F	見方	G	方法	H	結果
I	だから	J	しくみ	K	適当	L	用事

日本語（問題C）

Nationality		No.		Marks
Name	(Please print full name, underlining family name)			

I 次の漢字の正しい読み方または書き方でもっとも適当なものを A~D の中から一つえらんでその記号を解答用紙に書きなさい。

1 ゆうしょうが決定した瞬間、会場はかんきの渦に包まれた。

- (1) ゆうしょう A 優秀 B 優勝 C 有賞 D 有償
 (2) 瞬間 A しゅんかん B しんかん C またたくま D じゅんま
 (3) かんき A 換気 B 歓迎 C 喚起 D 歓喜
 (4) 渦 A わざわい B なみ C うず D か

2 人の考え方はそれぞれで、十人十色、千差万別である。

- (5) 十色 A じっしき B じっしょく C とおいろ D といろ
 (6) 万別 A まんべつ B ばんべつ C まんべち D ばんべち

3 彼女はどくそう性があり、ひょうげん力に優れている。

- (7) どくそう A 独想 B 独奏 C 独創 D 独走
 (8) ひょうげん A 表現 B 表言 C 標言 D 評現
 (9) 優れて A まされて B ゆうれて C うれて D すぐれて

4 彼は一切のだきょうを許さず、かんぺきを求める。

- (10) 一切 A いっせつ B いっさい C ひときれ D いちせつ
 (11) だきょう A 妥協 B 惰協 C 妥供 D 惰供
 (12) かんぺき A 観壁 B 完璧 C 完璧 D 観壁

II ()の中に入るもっとも適当なものをA~Dの中から一つ選んでその^{きごう}記号
を^{かいとうようし}解答用紙に書きなさい。

(1) ドアの前には召使が()と並んで主人を出迎えました。

A みっちり B ひよっこり C ぎっしり D ずらり

(2) 野党が与党に()反対するので法律の制定が進まない。

A いちいち B びしょびしょ C めきめき D ふわふわ

(3) このレストランの()は15歳の時から料理の修行をしてきた
そうだ。

A コーチ B フリーター C シェフ D アイドル

(4) いつも心を()料理を作っています。

A こめて B まぜて C あつかって D 入れて

(5) 店を大きくしたい、有名になりたいという()が必要です。

A 心当たり B 野心 C 心づくし D 心中

(6) 木村さんは親切ですが、押しつけがましい()がある。

A すき B きらい C じょうず D むけ

(7) あそこにいる黒()の人は何をする人ですか。

A めく B まみれ C っぼい D ずくめ

(8) 山田さんはスケート()か自転車でも、オリンピック選手に
選ばれました。

A だけ B わけ C ばかり D かぎり

(9) 大金持ちの西田さん()人工衛星を買うことはできないだろう。

A とはいう B といわず C とあって D といえども

(10) 最近の若者()何でもメールですまそうとする。

A ときたら B としたら C とみたら D とんだら

(11) 両親の心配を()あゆみさんは一人暮らしを始めた。

A そばに B よそに C たびに D うちに

(12) 昨日のパーティーでは北川さんをお()しませんでした。

A 泣き B 話し C 見かけ D 会い

(13) 今回の彼の小説は()にたるレベルではない。

A 評価する B 評価した C 評価して D 評価しない

(14) 千年の長き()王家はこの土地を支配してきた。

A に反して B にわたって C につれて D にしたがって

Ⅲ ()の中に入る最も適当なことばを下の□の中から一つ選んでその
記号を解答用紙に書きなさい。

問1

- (1) いなかのお母さんに () よろしくお伝えください。
- (2) 弟は () 知らないふりをして、母を困らせた。
- (3) 国の祖母と電話で話したら () ホームシックになった。
- (4) 電車で前に座った人が () こちらをうかがっている。
- (5) スマートフォンの検索機能は () 現代の羅針盤である。
- (6) 彼女は優秀な学生だったが、() 20代で社長になるとは。

- | | | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|------|---|-------|
| A | せっかく | B | わざと | C | せめて | D | くれぐれも |
| E | 今にも | F | いわば | G | しきりに | H | よけいに |
| I | まさか | J | わりに | K | まもなく | L | いっそ |

問2

- (1) 奨学金の結果がわかるまで何も () につかなかった。
- (2) 偉くなる人ほど () が低いです。
- (3) 彼女の日本語の歌の上手さには、みんな () を巻いた。
- (4) 二人が結婚することをもう知っているなんて () が早いね。
- (5) 山本さんは () が固いので、あなたに話すはずがない。
- (6) 会社の収益が伸びないので () が痛い。

- | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|----|
| A | 目 | B | 耳 | C | 腕 | D | ひざ |
| E | 舌 | F | 手 | G | 足 | H | 口 |
| I | 顔 | J | 頭 | K | 胸 | L | 腰 |

IV 次の文を読んで、(1)～(4)の中に入ることばを□の中から一つ選んで、かいとうようし きごう解答用紙に記号で書きなさい。(2)には同じ言葉が入ります。

かつて、きし棋士^{*1}のはぶよしはる羽生善治はITとしょうぎ将棋^{*2}について次のように語っていた。

「ITとネットの進化によって将棋の世界に起きた最大の変化は、将棋が強くなるための高速道路が一気に敷かれたということです。」

「私が最も強く懸念しているのは、この「学習の高速道路」を走るなかで、大量の(1)を得ることに追われて、かえって自分の頭で課題を解決する時間がなくなっていくことです。実のところ私は、今の若い棋士たちの、未知の局面に出合ったときの対応力が少々落ちている気がしています。」

そして、昨年、将棋の史上最年少棋士・ふじい そうた藤井聡太四段^{*3}が生まれた。公式戦29連勝して、歴代新記録を樹立し、列島を狂騒に巻き込んだ。

なぜ藤井は14歳にしてきつりつ屹立^{*4}しているのだろう。羽生は言う。「不思議なんですよ。まず四段になろうと思ったら最低限のじょうせき定跡^{*5}やセオリーを知っていないと話になりません。それらを全て身に付けるには時間がかかります。将棋には多くの戦型があり、それぞれでフォローしなければならない定跡が山ほどあります。それらをきちんと押さえるだけで二十歳くらいになってもおかしくないものです。ところが、藤井さんは14歳でほとんど全てに対応している。ものすごいことです」

しかし、棋士として置かれている環境には、10代の羽生と今の藤井には絶対的な違いがある。(2)の有無である。羽生は現在も頂点の舞台で活躍する、いわゆる「羽生世代」の盟友たちと10代の頃からせつ さたくま切磋琢磨^{*6}しながら強くなってきた。一方の藤井の場合は、現在のしょうれいかい奨励会^{*7}を見渡しても、すぐに歩みを共にするような同世代の新星は見当たらない。

(2)の不在について藤井に尋ねたことがある。その時、彼は少し不思議なことを言った。「今までは人間というプレイヤーしかいませんでしたが、(コンピュータ)ソフトを活用することでもっといろいろな棋士が出てくると思っ

ています。」^{ちよくせつてき}直截的な表現ではないが、藤井は切磋琢磨すべき対象を、コンピュータによって代替できるという視点を持っているようだった。

藤井が飛躍的に力を伸ばしたのは約 1 年前にコンピュータによる研究を始めたことが契機となった、と本人も認めている。ところが、羽生の見解はやや異なる。「仮に藤井さんが全くコンピュータを使っていなくても強くなったのは間違いないです。結局、藤井さんのセンスがいいということなんだと思います。現代将棋は目まぐるしく変わっていて、今までの（ 3 ）^いが活きなくなっているくらい変化が激しい。藤井さんよりも経験と知識があるはずなのに勝てないということは、過去の知識が役に立っていないということです。それくらい技術の変遷が速い時代になっています」

ならば、現代将棋における強さとは、現時点のトレンドにいかにかフィットできるかという（ 4 ）のようなものに変化してきているのだろうか。

（梅田望夫『ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる』、（羽生善治『人工知能の核心』、北野新太『羽生三冠ロングインタビュー「藤井聡太四段の弱点が見えない」』）より

A ライバル	B 価値	C 経験値	D 敏捷性
E 情報	F 柔軟性	G 二面性	H 実験値
I 偏差値	J 事実	K 友人	L モデル

- *1 ^{きし}棋士：職業として将棋をする人。
- *2 ^{しょうぎ}将棋：日本のチェス
- *3 段：将棋、柔道などの等級。将棋では四段からプロ。
- *4 ^{きつりつ}屹立：山などがそびえ立つこと。
- *5 ^{じょうせき}定跡：将棋で、その時最善とされる、決まった指し方。
- *6 ^{せつさたくま}切磋琢磨：志を同じくする者が、互いの欠点や誤りを直しあつて向上をはかること。
- *7 ^{しょうれいかい}奨励会：棋士を目指すものが所属する研修機関。